

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)								
事業名	歴史的風致維持向上推進等調査		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度/平成26年度(予定)		担当課室	公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室		課長 舟引 敏明		
会計区分	一般会計		施策名	21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(歴史まちづくり法)、新成長戦略~「元気な日本」復活のシナリオ~、都市再生基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)			町家等の歴史的建造物の滅失を防ぎ、歴史的まち並みを保全・活用するため、地方都市の歴史的なまち並み形成において隘路となっている共通課題等に対応する調査により対策を実証し、歴史的風致の維持向上を推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民間の資金を建造物の修理等に導入しやすくするためのスキームづくりや制度構築、空家・空地の発生等による景観悪化への対策、歴史的建造物保存の専門家組織の育成といった歴史的風致維持向上の推進に関する共通課題等について、先進的な取組を行っている市町村に課題解決手法の提案を募集し、第三者委員会で選定の上、国と地方公共団体、民間等が連携のもと、モデル的な調査、実証事業を行い、全国への普及を促進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算				130		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					130		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(29年度)	
	歴史的風致の維持及び向上に取り組む市区町村の数		成果実績	団体	10	16	22	100
			達成度	%	10.0	16.0	22.0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	歴史的風致維持向上推進等調査の実施団体数		活動実績(当初見込み)	団体				—
						()	()	
単位当たりコスト	8.7百万円 (実施見込み額/実施見込み団体数)		算出根拠	H24年度の要求額(130百万円)を、平成24年度における調査の実施見込み団体数(15団体)で除したもの				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	歴史的風致維持向上推進等調査委託費	-	130	新規要求				
	計	-	130					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度に行われた行政事業レビューにおいて、景観法に基づく景観重要建造物等の修理等や歴史まちづくり法に基づく歴史的風致形成建造物の修理等を中心とした、ハード・ソフト両面に渡る取組に対し支援を行う景観・歴史的環境形成総合支援事業に対し、評価結果としては「廃止」、所見としては「昨年度の行政事業レビューで廃止。経過的に措置された歴史的環境形成総合支援事業は23年度限りで一旦廃止する。国として促進すべき歴史まちづくりについては、予算規模を縮小し、地方の主体的取組を支援する方策を別途措置する。」といった見解が、予算監視・効率化チームから示されている。</p> <p>また、町家等の歴史的建造物を活用したまち並み形成による地域の活性化や観光振興に取り組む市町村が増加していることから、このような歴史的なまち並み形成の取組を推進することは広く国民のニーズがあり、民間資金の活用と、専門家組織の育成といった地方都市における取組において隘路となっている共通課題等について、全国的に活用可能なノウハウの蓄積や枠組みの構築は国が行うべきである。</p> <p>上記の点検を踏まえ、本調査を要求する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>事業所管部局による点検がおおむね適切に行われており、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			